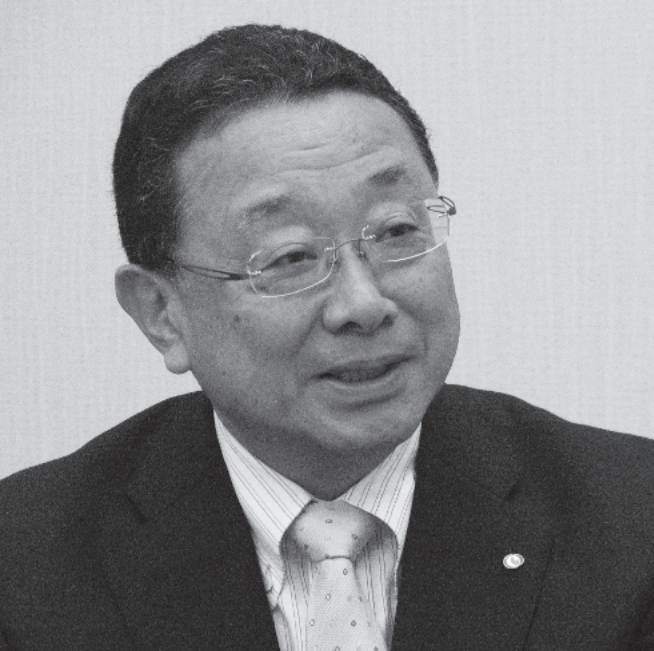




憧れの東京ディズニーリ 中大OB・上西社長イン

学生記者 森 真優 (法学部4年)



3歳で初めて訪れて以来、私は東京ディズニーランドの世界観に魅了され続けている。友達と一緒に、時には一人でも。何度も足を運んでいる大好きな場所である。そこは誰もが笑顔になれる、まさに「夢と魔法の王国」だ。

夢と魔法の王国のCOOは中大OB

東京ディズニーリゾート(TDR)を運営する株式会社オリエンタルランド社長兼COO(最高執行責任者)の上西京一郎氏(59)が中央大学出身と分かってからというもの、夢と魔法の王国づくりについて、ぜひ、お話を伺いたいと思い、インタビューを申し込んだ。

取材当日はうれしさと緊張を胸に、千葉・新浦安へ向かった。会社訪問は初めて。社内にはシンデレラ城の大きな模型などがあり、普段なかなか見ることができない展示品に心を弾ませながら会議室へ急いだ。

夢にまで見た社長インタビューが叶えられた。私なりに用意した質問に対し、優しく、分かりやすく、笑顔で応えてくださる姿が印象深かった。

オリエンタルランドに入社して以来、最も印象に残ったことは、東京ディズニーランド、そして東京ディズニーシーがオープンしたとき、その場にいられたことだという。

1980年の入社。東京ディズニーランドの建設着工は同年12月。開園は入社3年後の1983年だった。

今でこそオリエンタルランドは人気企業で、「就職企業人気ランキング」では毎年上位に入る。

上西社長が中大生だった頃は違ったようだ。3年後のオープンは決まっていたものの、新規事業が成功するか不安だったという。

将来を決める人生の分岐点で、今後どのようにビジネス展開されていくのか分からない状況下、入社を決意した。大きな決め手となったもの、それは「人と直接関わり続けることができる仕事がしたい」という自らの価値観だった。

私はいま就職活動中である。就活中の揺れる思いを知るだけに、大先輩の勇敢さ、自らの意思を貫く姿に圧倒された。計り知れない勇気と覚悟がなければできないことだと思われた。

入社後、テーマパークのオープ

ンまで、周囲からは、そんな大きなことができるのか、といった声も多々あったという。

目の前のことを一つひとつ着実にやり遂げた。オープンできたときの喜び、ゲートが開いた瞬間のゲスト(来場者)の笑顔は、忘れることができないという。

「ゲストの素晴らしい笑顔を見て、とても感動しました」

東京ディズニーランドの開園は上西氏をはじめ、当時尽力されていた方たちすべての努力の結晶と言える。みんなの夢を乗せてオープンしたディズニーランドは、今でも多くのゲストを魅了し続けている。

2020年に向けた大規模開発

お話の中で、テーマパークの運営にはあらゆる世代の、すべての人に楽しんでもらいたいという熱い気持ちが込められているのを実感した。

2020年に向けた、東京ディズニーランドの大規模開発において、象徴的な存在のファンタジーランドが拡張される。

ゾート、 タビュウが叶った



新たに「美女と野獣」をテーマにした世界初のアトラクション導入や、物語に登場する野獣の城が再現されるという。

「美女と野獣」といえば、1991年に公開された真実の愛をテーマに描かれた物語であり、今年春には実写化が話題となった。再び注目を集めている作品である。

私自身、ディズニー映画の中でも大好きな物語であり、映画の世界観を東京で体験できると思うと、とてもうれしかった。

数多いディズニー作品の中で、なぜ、「美女と野獣」が選ばれたのか、気になっていた。

上西社長は、老若男女が一緒に楽しめるエリアだからこそ、そのコンセプトに当てはまるディズニーのストーリーは何かと考えた。

そこで今でも映画の良さが伝え

られる「美女と野獣」に決まったという。

新しい時代へ向けても、多くの人に楽しんでもらえる魅力あふれるテーマパークを作っていくため、10年のスパンで計画を立てる。

アトラクションの導入やレストラン、サービス施設の改善も含めて、多角的に検討し、構想を練る。

「ゲストに喜んでいただくために、素晴らしい時間を過ごしていただくために、キャスト(従業員)は何をしたらいいのか、一人ひとり、一生懸命に考えています」

TDRが多くのゲストから愛され続ける理由は、ゲストに喜びや感動を届けたいという思いが込められているからだと感じた。テーマパーク運営も知ることができた。

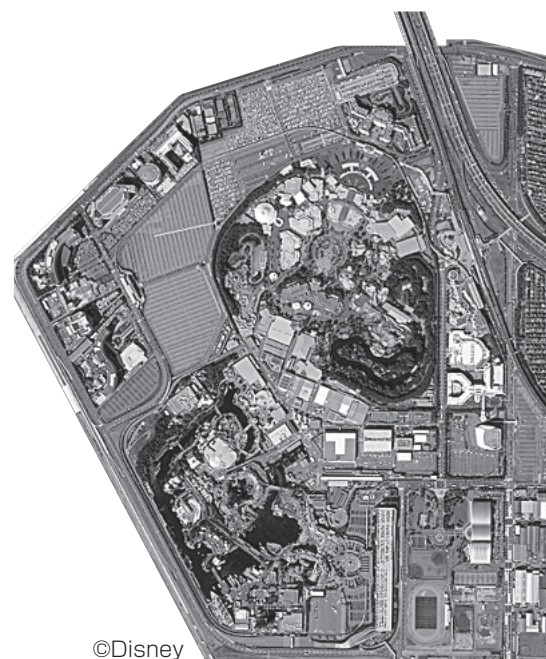
インタビューを終えた後、私は舞浜にあるテーマパークへ向かった。運営に携わる多くの人たちの思いがパーク内に込められている。改めてそう思うと、これまでとは異なる新鮮な感覚で楽しめた。

「ディズニーランドが完成することはない。世の中に想像力がある限り、進化し続けるだろう」。ウォルト・ディズニーが残した言葉である。

今、私たちの目の前に広がるパークも進化を遂げている過程であると言える。これからのパークがどのように進化するのか。期待はますます膨らんでいく。

※

今回の取材にご協力いただいた上西社長をはじめ、オリエンタルランド広報部の皆さまに深謝します。貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。



©Disney

東京ディズニーリゾートとその周辺の航空写真
(写真提供=株式会社オリエンタルランド)



インタビューを終えて